

平群町まちづくりアンケート調査について

(第6次総合計画等策定に係る住民意識調査)

1 趣旨、目的

平群町第5次総合計画及び平群町まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画期間終了を間近に迎え、新たに第6次総合計画及び第2期平群町まち・ひと・しごと総合戦略策定（以下、「次期総合計画等」と言う。）が必要となっている。現計画策定から10年近くの年月が経過し、我々を取り巻く環境や社会情勢が大きく変化しているため、住民ニーズ、まちづくりの意向、現計画に対する評価を調査し、次期総合計画等の策定に向けた基礎資料として活用する。

2 実施内容

住民を対象に平群町の「まちづくり」についての住民ニーズや意向、現計画に対する評価をアンケート調査形式で実施。

質問項目としては、平群町の住みよさや魅力、総合計画等に掲げる政策、施策についての住民の方の満足度や重要度、まちづくりの方向性や行財政改革に対する住民ニーズや意向などの把握を目的とした項目を設定する。

3 実施時期

アンケート用紙配布	令和3年11月10日（水）
アンケート用紙回収	令和3年11月30日（火）まで

4 調査対象者

令和3年10月1日を基準日として、満18歳以上の町民の方から
2,500人を無作為抽出。

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
送付数	58通	215通	223通	358通	379通	374通	543通	350通
構成比	2.3%	8.6%	8.9%	14.3%	15.2%	15.0%	21.7%	14.0%

5 実施方法

配布：郵送
回収：郵送及びWeb

6 回答数

1035通（郵送／持参 866通、Web 169通） 回収率：41.4%
※前回調査－888通 回収率：35.5%

アンケート調査に基づく第5次総合計画の検証

◆全体総括

【達成度・取組方向と住民意識調査について】

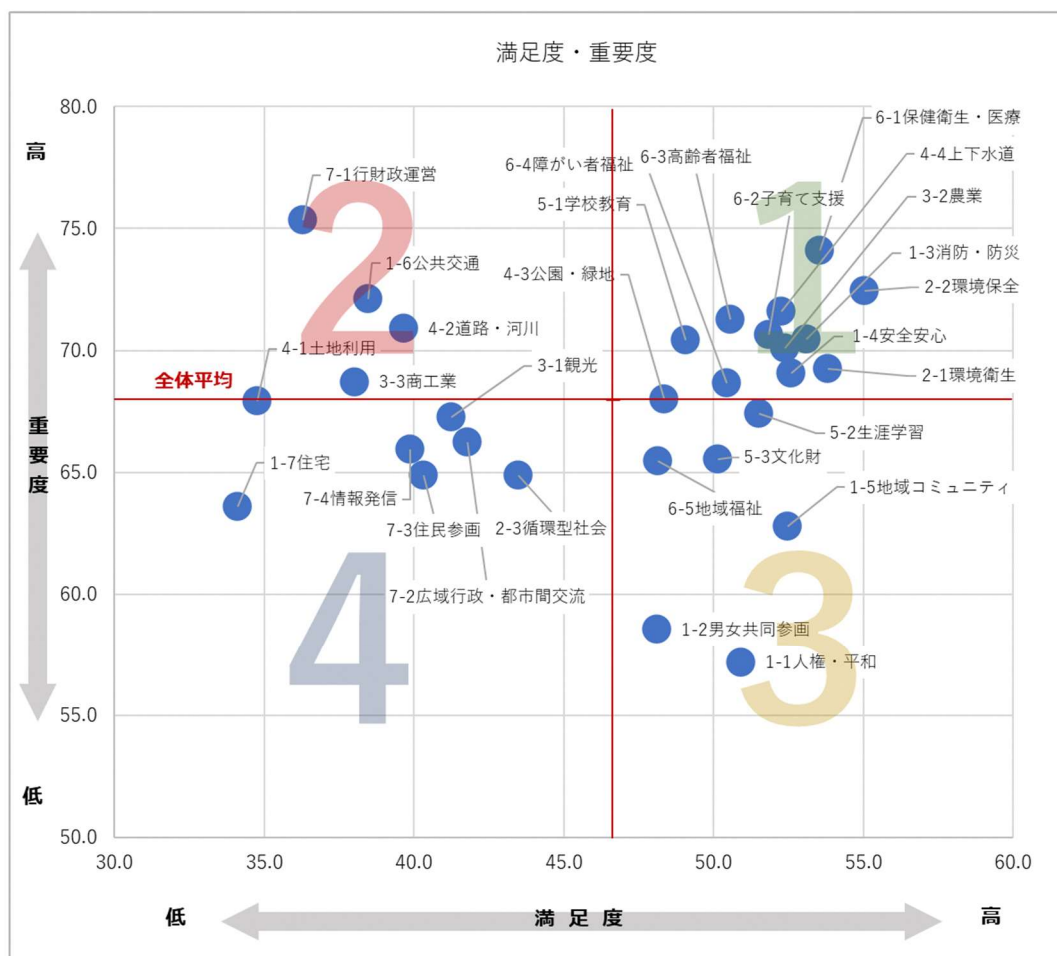
- ・ 現行計画に位置付けのある施策の多くが、「標準」の成果を得、着実な実施に取り組んできた。また、多くの施策において継続および拡充の方向となった。

【今後10年で取り組むべき内容や、第6次総合計画に追加すべき項目等】

- ・ 人口減少が進行する中、市民団体活動をはじめとする町内人的資源の将来性やそれともなう事業の継承が課題である。
- ・ 庁内での横の連携や、市民団体や民間企業・団体、近隣市町村との連携による取り組みの推進を検討する必要がある。
- ・ セクシャル・マイノリティ（性的少数者）や DX、SDG s などの新語や、平群町デマンド型乗合タクシーなど新たな取り組みの追記が必要である。

【住民意識調査について】

- ・ 住民意識調査において、平均満足度偏差値は46.6となった。満足度・重要度がともに高い項目は2-2環境保全、6-1保健衛生・医療などである。一方、満足度が低く重要度が高い項目として7-1行財政運営、1-6公共交通が挙げられる。



◆各章の総括

第1章 暮らし

- | | | |
|--------|----------|------------|
| (主要施策) | 1 人権・平和 | 5 地域コミュニティ |
| | 2 男女共同参画 | 6 公共交通 |
| | 3 消防・防災 | 7 住宅 |
| | 4 安心安全 | |

【達成度・取組方向と】

- ・ 「5 地域コミュニティ」については、ボランティアによる「ふるさとへぐりクリーンアップ作戦」の参加者が減少したことから、一部取り組みで達成度が低くなっている。
- ・ 全ての施策において、今後も継続・拡充の方向である。

【主な積み残し課題】

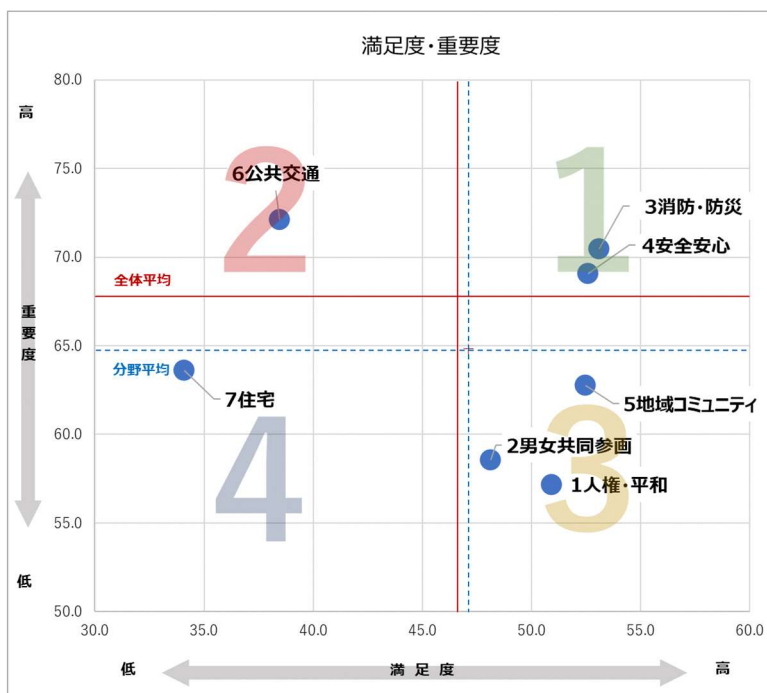
- ・ 市民団体などの後継者不足による市民活動の衰退 （5 地域コミュニティ）
- ・ 空き家数の増加と空き家バンクの周知 （7 住宅）

【今後 10 年で取り組むべき内容や、第6次総合計画に追加すべき項目等】

- ・ セクシャル・マイノリティ（性的少数者）等、多様性を尊重する人権教育・啓発等の推進（2 男女共同参画）
- ・ 他担当課との連携（4 安心安全について、子どもの見守り項目での福祉こども課との連携）
- ・ 食品ロスやSDG s と消費者教育など新たな取り組みを追加（4 安心安全）
- ・ 平群町デマンド型乗合タクシーの取り組みを追加（6 公共交通）

【住民意識調査について】

- ・ 「6 公共交通」「7 住宅」について、住民満足度が低い。



第2章 環境

- (主要施策)
- 1 環境衛生
 - 2 環境保全
 - 3 循環型社会

【達成度・取組方向と住民意識調査について】

- ・ 全ての施策において、一定の成果をあげている。
- ・ 全ての施策において、今後も継続・拡充の方向である。

【主な積み残し課題】

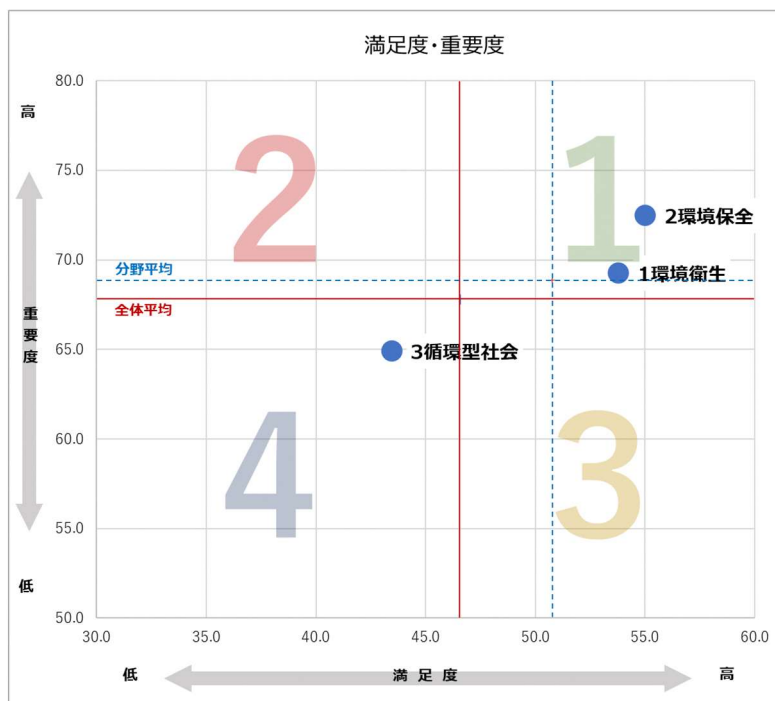
- ・ ごみ出し困難世帯への回収サービスに伴うごみ分別の見直し (1 環境衛生)
- ・ 市民団体への里山整備活動の推進と支援策の検討 (2 環境保全)
- ・ 不法投棄件数の減少が進まない (2 環境保全)
- ・ 空き地雑草駆除の指導・管理件数の増加 (2 環境保全)
- ・ コロナ禍によるイベントの中止 (3 循環型社会)

【今後 10 年で取り組むべき内容や、第6次総合計画に追加すべき項目等】

- ・ 「ポイ捨て等の防止条例」の周知 (2 環境保全)
- ・ ごみの資源としての活用や有るものを長く使うことを意識づけできるように表記を検討 (3 循環型社会)

【住民意識調査について】

- ・ 「3 循環型社会」について、住民満足度がやや低い、全体的に住民満足度が高い。



第3章 産業

- (主要施策)
- 1 観光
 - 2 農業
 - 3 商工業

【達成度・取組方向と住民意識調査について】

- ・ 「1 観光」については、小菊アートおよび遊休農地田畑での花の植栽の実施有無が不明であるため、一部取り組みで達成度が低くなっており、取組も縮小の方向である。

【主な積み残し課題】

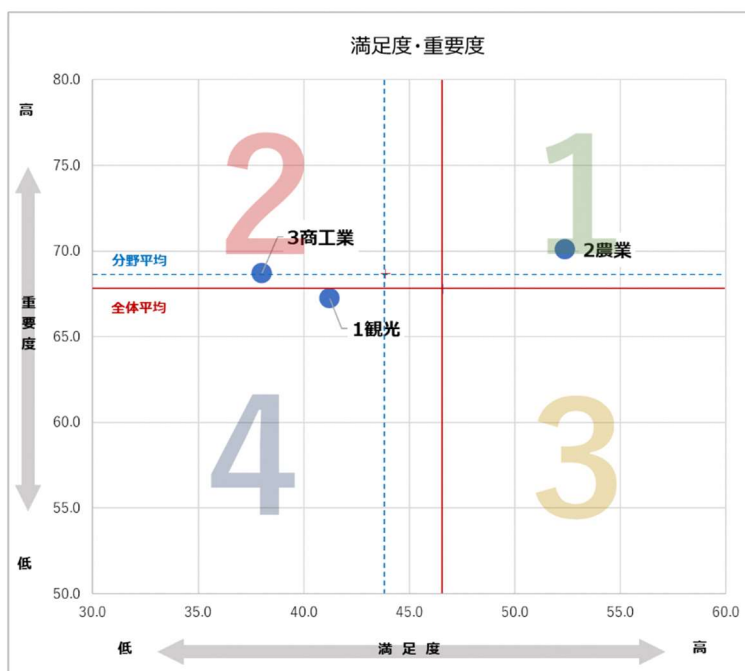
- ・ 遊休農地の増加 (2 農業)
- ・ 上庄バイパス東側地区への企業の誘致と雇用促進 (3 商工業)
- ・ バイパス沿道(平等寺・三里地区、椿井地区)におけるさらなる商業機能の充実化 (3 商工業)
- ・ 事業承継支援と創業支援、新たな商工会会員の獲得 (3 商工業)

【今後 10 年で取り組むべき内容や、第6次総合計画に追加すべき項目等】

- ・ 民間企業との連携・隣接市町村との広域連携 (1 観光)
- ・ アフターコロナにおける観光施策の見直し (1 観光)
- ・ 農業を楽しんでもらうための取り組みの追加 (2 農業)
- ・ 土地利用の見直し検討 (3 商工業)
- ・ 幅広い業種の誘致の推進 (3 商工業)

【住民意識調査について】

- ・ 「2 農業」については、住民満足度がやや高い。一方、「1 観光」「3 商工業」については住民満足度がやや低い。



第4章 都市基盤

- (主要施策)
- 1 土地利用
 - 2 道路・河川
 - 3 公園・緑地
 - 4 上下水道

【達成度・取組方向と住民意識調査について】

- ・ 「4 上下水道」については、公共下水道事業の一部集合処理合併浄化槽地域において不明水の解消に時間を要したことから当初の予定より遅れが生じ、また町の財政事情等により、事業進捗に遅れが生じていることから、一部取り組みで達成度が低くなっている。
- ・ 「1 土地利用」については、平群駅西特定土地区画整理事業の完了により一部取組が完了した。

【主な積み残し課題】

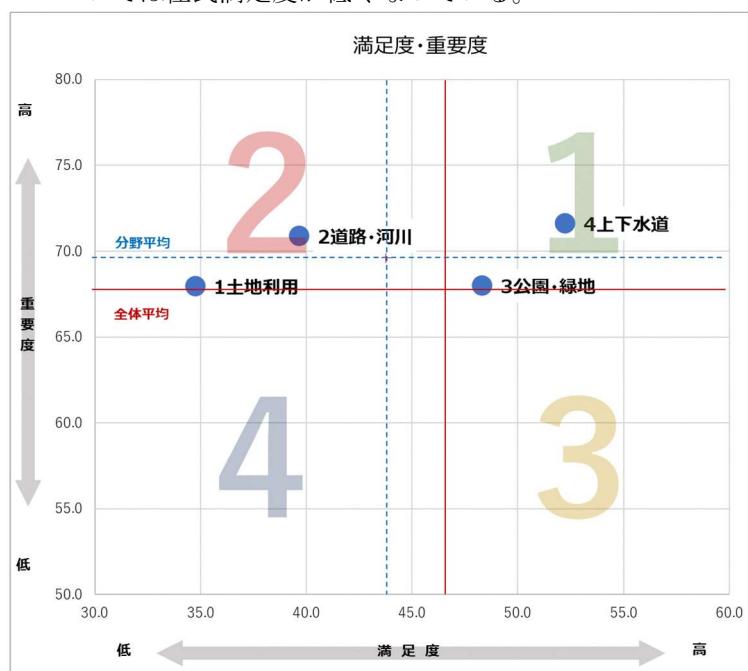
- ・ 商業機能が入れ込めるような土地利用の見直し （1 土地利用）
- ・ 大和都市計画との整合 （1 土地利用）
- ・ 公園遊具の老朽化 （3 公園・緑地）
- ・ 高齢化に伴う地域の清掃・美化活動の維持 （3 公園・緑地）
- ・ 有収率の向上、老朽管路への対策 （4 上下水道）

【今後 10 年で取り組むべき内容や、第6次総合計画に追加すべき項目等】

- ・ 住民との協働 （3 公園・緑地）
- ・ （仮称）奈良県広域水道企業団設立による事業統合（令和7年度予定）の記載検討 （4 上下水道）

【住民意識調査について】

- ・ 「4 上下水道」について、住民満足度が高い項目となっている。一方、「1 土地利用」については住民満足度が低くなっている。



第5章 教育

- (主要施策)
- 1 学校教育
 - 2 生涯学習
 - 3 文化財

【達成度・取組方向と住民意識調査について】

- ・ 全ての施策において、一定の成果をあげている。
- ・ 全ての施策において、今後も継続・拡充の方向である。

【主な積み残し課題】

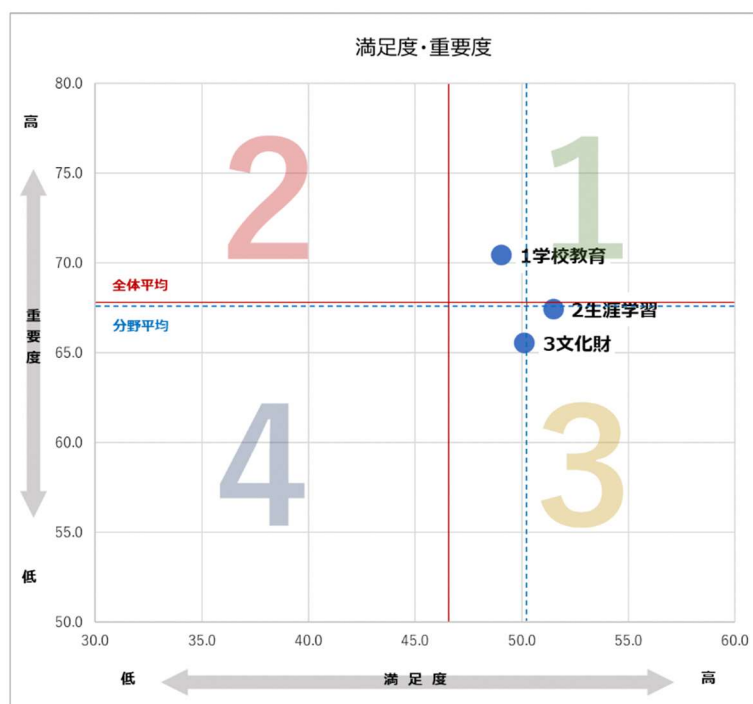
- ・ スポーツ活動各種大会の参加人数の減少、あり方再検討 (2 生涯学習)
- ・ 総合文化センターの施設利用者数の増加、どんぐり広場での賑わい創出 (2 生涯学習)
- ・ 子供向け講座の増加 (2 生涯学習)
- ・ 各種調査成果の活用、情報発信 (3 文化財)
- ・ 主要古墳の継続的かつ適切な維持管理 (3 文化財)

【今後 10 年で取り組むべき内容や、第6次総合計画に追加すべき項目等】

- ・ 図書館ボランティアや文化芸術活動指導者の人材育成 (2 生涯学習)
- ・ 文化財の適正な保護及び活用の枠組みの構築 (3 文化財)
- ・ 文化財の観光資源としての活用 (3 文化財)

【住民意識調査について】

- ・ 全ての項目において、住民満足度は高い。



第6章 福祉・健康

- (主要施策)
- | | |
|-----------|----------|
| 1 保健衛生・医療 | 4 障がい者福祉 |
| 2 子育て支援 | 5 地域福祉 |
| 3 高齢者福祉 | |

【達成度・取組方向と住民意識調査について】

- 「1 保健衛生・医療」について、食育推進計画の取り組みの評価・アンケート結果が芳しくなかったため、一部取り組みで達成度が低くなっている。
- 全ての施策において、今後も継続・拡充の方向である。

【主な積み残し課題】

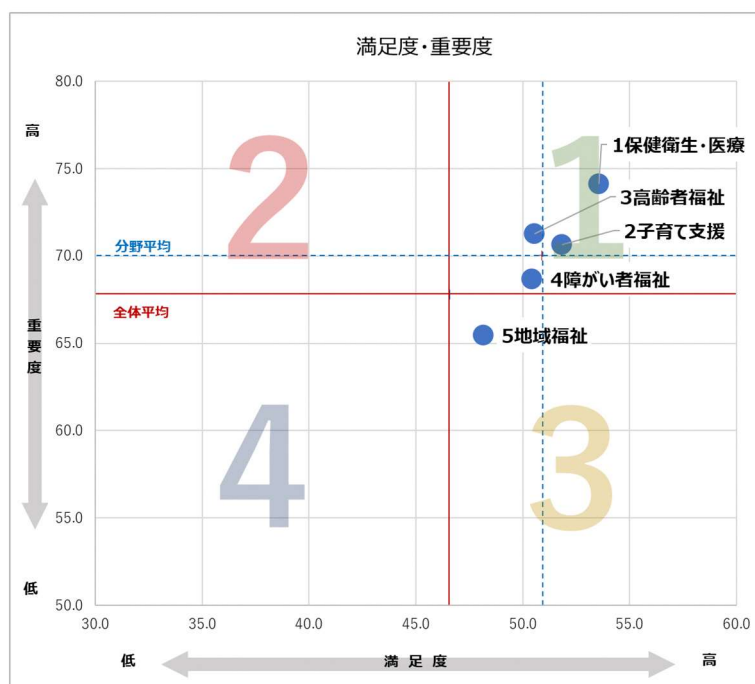
- 子育て支援について、きめ細かな対人サービスの実現検討（1 保健衛生・医療）
- 検診・健診の受診者増加のための取り組み（1 保健衛生・医療）
- 子育て世帯の多様なニーズに対応した総合的な支援、各機関との連携の強化（2 子育て支援）
- 保育教諭の人員確保（2 子育て支援）
- 福祉医療の助成拡充に伴う町の費用負担増加（2 子育て支援）
- サービスを必要とする高齢者世帯への情報提供方法の多様化検討（3 高齢者福祉）
- 相談体制の拡充（4 障がい者福祉）
- 地域との連携強化と体制づくりの検討及び担い手の育成（5 地域福祉）

【今後 10 年で取り組むべき内容や、第6次総合計画に追加すべき項目等】

- 母子保健の各種事業の継続及びニーズをとらえた事業展開（1 保健衛生・医療）
- 成人・老人保健のフレイル予防（1 保健衛生・医療）
- 公民連携による子育て支援（託児制度等）の充実（2 子育て支援）
- 就学前教育・保育の質の向上（2 子育て支援）
- 地域包括ケアによる、切れ目のない子育ての実現（2 子育て支援）
- 地域生活支援拠点等や児童発達支援センターの記載検討（7 町連携で令和5年に設置予定）（4 障がい者福祉）
- 庁内での横断的な連携（5 地域福祉）

【住民意識調査について】

- 全ての項目において、住民満足度は高い。



第7章 行政運営

- (主要施策)
- 1 行財政運営
 - 2 広域行政・都市間交流
 - 3 住民参画
 - 4 情報発信

【達成度・取組方向と住民意識調査について】

- ・ 「2 広域行政・都市間交流」について、ホームステイの受け入れや小中学校での留学生との交流を実施しなかったため、一部取り組みで達成度が低くなっている。
- ・ また、コロナ禍において他市町村との交流や協議は見送っている状況であるため、一部取り組みを廃止し、アフターコロナにおける都市間交流のあり方の検討を行う。

【主な積み残し課題】

- ・ 総合計画に位置づいた施策と事務事業の連携 (1 行財政運営)
- ・ 個々の能力を活かした職員配置、行政サービスのアウトソーシング (1 行財政運営)
- ・ 土地開発公社等の遊休用地の利活用 (1 行財政運営)
- ・ 大学や金融機関との連携強化 (2 広域行政・都市間交流)
- ・ 地域コミュニティ活動が衰退する中で住民協働に対する意識付けの強化と支援の検討 (3 住民参画)
- ・ 各種団体の高齢化・会員減少と人材育成 (3 住民参画)

【今後 10 年で取り組むべき内容や、第6次総合計画に追加すべき項目等】

- ・ 財政健全化計画の進行 (1 行財政運営)
- ・ DX の活用など時代に沿った記述 (1 行財政運営、4 情報発信)
- ・ 大学や民間企業・団体との連携 (2 広域行政・都市間交流)
- ・ 手続きの電子化や相互発信ツール(チャットボット)について記載検討 (4 情報発信)

【住民意識調査について】

- ・ 全ての項目において、住民満足度は低い。

